

Y M F G アジア便り【山口銀行釜山支店】

プ  
サ  
ン

こ  
ん  
に  
ち  
は

# 釜山からア・ア・ニョ・ンハセヨ

山口銀行は、釜山（韓国）、青島、大連および香港（中国）に3支店1駐在員事務所を設けており、東アジアに特化した独自の強いネットワークがあります。もみじ銀行・北九州銀行においても、山口銀行のもつ韓国・中国ビジネスの経験やノウハウ、ネットワークを有効活用し、お客様の海外進出をサポートいたします。

## 韓国でビジネスをサポート

山口銀行は釜山市内で唯一の邦銀です。韓国に進出されている日系企業や韓国の現地企業の各種資金ニーズにお応えしています。また、韓国への進出を検討されている日本国内のお客様からのニーズにお応えし、韓国の商習慣、各種制度や業界の動向についての情報提供や、会計事務所・通訳等の紹介も行っています。

## 韓国第2の都市「釜山市」

釜山市は、人口約350万人。韓国第2の都市です。韓国主要都市の中で日本に最も近く、古くから朝鮮半島と日本を結ぶ交通の要衝として栄えてきました。地理的にも歴史的にも九州・山口との関係が深く、最近では「釜山―福岡広域経済圏」を目指す構想もあり、今後、経済・文化の両面で交流がますます活発化すると予想されます。

## 北東アジアの物流ハブ港湾

### 釜山港



韓国の輸出入コンテナ取扱量は13億3000万トン（韓国国土海洋部2013年1月30日発表）。釜山港の取扱量はその約4分の3を占め、世界第5位のコンテナ港湾として確固たる地位を築いています。また、世界100カ国、500以上の港湾と連結するネットワークが形成されています。

釜山港への進出は、物流業だけにとどまりません。日系企業の卸売業・小売業等は、物流コスト削減が図られることから、釜山港をハブ港として日本各地及びアジアへの輸送拠点とし、企業の競争力強化につながっています。1995年から建設が始まった釜山新港も順次稼働し、特に大手物流会社等日系企業の進出が目立っています。

## 北九州市のお取引先A社様のサポート例

北九州市に本社を置くA社様は韓国に現地法人を有し、大型機械分解修理等の特殊な業務を行っていました。A社様は韓国のパートナー工場の一部を間借りして作業を行っていましたが、機械稼働の騒音問題等から、釜山近郊の中古工場への移転を検討していました。

そこで、北九州銀行を通じて、山口フィナンシャルグループ傘下の山口銀行釜山支店で韓国内における不動産購入に関する調査を行い、情報を提供いたしました。現地に営業拠点を有する当グループならではのスピードある活きた情報提供等ができたことから、A社様にご満足いただき、不動産の購入資金については北九州銀行からご融資を行う事となりました。

また、その後も韓国で日本語対応可能な会計事務所の紹介や、日本人派遣者の納税手続きを代行している納税組合の紹介等、引き続き、海外進出に関するお手伝いをさせていただきます。

山口フィナンシャルグループはグループ一体となって、お客様の海外事業をサポートしています。



釜山支店は貴方のお越しを心よりお待ちしております。

# 日本とアジアの架け橋に

山口銀行では、1986年から下関市立大学への留学生受け入れに協力し、中国・トルコ・タイの留学生の学費・生活費等を支援しているほか、1992年から青島市で山口銀行杯日本語弁論大会を開催、また下関の小学生と青島、大連の小学生との交流支援なども行い、長年、日本とアジアの友好親善のための活動を続けています。



## 山口銀行青島支店が外務大臣表彰を受賞。

このたび、こうした活動が評価され、山口銀行青島支店が平成25年度外務大臣表彰を受賞しました。外務大臣表彰は、世界中で活躍し、日本と諸外国との友好関係の増進に多大な貢献があり、中でも特に顕著な功績があった個人、団体に授与されるもので、山口銀行杯弁論大会の会場で表彰状の授与が行われました。



## さまざまな交流活動を行っています。

山口銀行が支援している下関市立大学の聴講留学生が、下関市の小学校を訪れて交流。留学生は、祖国の生活や世界遺産などを紹介し、子供たちは目を輝かせて話を聞いていました。また、中国でボランティアなどの「小さな親切」運動に取り組む善行児童を日本に招待・表彰するなどの活動も行っています。

今後も、引き続き日本とアジアの架け橋となるような活動を続けてまいります。